

部活動地域移行について

部活動の地域移行は、中学校の教育の一つとして行われてきたスポーツ・文化活動について、地域でスポーツ・文化活動に親しめる環境を整備し、地域の活動として地域人材（学校の先生を含む）等が担うことです。少子化の進行等により、これまでと同様の部活動（学校教育の中で教師が指導を担う等）の維持・継続が難しくなっていることから、国や岡山県教育委員会が推進しています。

○学校部活動と地域クラブ活動の比較

今後、段階的に学校部活動から地域クラブ活動へ移行するにあたり、その比較を次の表に示します。

	学校部活動	地域クラブ活動
位置付け	学校教育の一環	社会体育、文化活動の一環
活動種目	学校が設置	当面は、現在学校に設置されている部を基本とする。（ニーズにより、新たな部の設置も検討）
活動場所	各中学校、市のスポーツ・文化施設	各中学校、市のスポーツ・文化施設
参加資格	所属校生徒のみ	所属校生徒を基本とするが、種目によっては、複数校の生徒が参加
指導者	所属校教員、部活動指導員	地域の指導者、希望する教員
経費	公費、または一部（大会参加費、交通費等）保護者負担	検討中
活動日数・時間	週4～5日 平日2時間程度、休日3時間程度の活動	現在の学校部活動の活動日数・時間に準じて実施



○「そうじゃ子ども議会（部活動地域移行）」での質問と答弁の概要

令和4年11月12日（土）に、部活動地域移行に関する「そうじゃ子ども議会」が開催されました。各中学校の1・2年生の代表19名が議員として参加し、総社市長や教育長の他、部活動地域移行に係る職員に対して、部活動地域移行についての疑問や不安、提案を質問するという形で行いました。その質問と答弁の一部を紹介します。



部活動地域移行について、どのようなことが決まっているの？

・10月から先生以外の専門的知識や経験を持つ外部指導者を公募しています。また、環太平洋大学や青山学院大学、くらしき作陽大学に協力を依頼しています。令和5年4月1日から休日の部活動指導について準備できた種目から地域移行を開始していきます。



新しい指導者が見つからない場合は廃部になるの？

・希望する生徒がいるにもかかわらず、既存の部活動が休止、また廃止となることがないようにしていきたいと考えています。



部活動の時間は今と比べてどう変わるの？

・活動時間は身体の負担や効果的に活動できる時間などを考えて設定されているので、現在の学校の部活動と変わらないと考えています。



中学校の先生の練習が良くて、部活動に入っている生徒もいるけどどうなるの？

・先生の部活動への関わりは、一定程度は今後も継続していく必要があると考えています。希望する先生が部の指導に継続して関わることができる仕組みを作っていきます。

令和5年度は学校部活動の地域連携を進めていきます。

【指導者】

- 休日の活動は、地域の指導者と先生が協力して指導します。
- 平日の活動は、先生が中心となり、一部地域の指導者が入って指導します。



【活動単位】

- 中学校区単位、複数校合同、市でひとつ等、様々な単位が考えられますが、ひとつひとつの種目ごとに検討していきます。

【活動場所】

- 学校施設を中心に活動します。合同部活動の場合は、他校の施設で活動することがあります。種目によって、また、日によっては、市のスポーツ施設や文化施設の利用も検討していきます。

【経費負担】

- 国、県、市がどのように負担していくか、また、生徒（保護者）の負担をお願いするようになるかどうか、現在、検討しています。